

平成21年第4回景況調査結果について

2009年12月 8日
三重県農水商工部
(財)三重県産業支援センター

調査要領

1. 調査時点：2009年11月(下旬)
2. 調査対象：県内全域の企業1,000社
3. 調査方法：FAXによるアンケート調査
4. 回答状況：342社(有効回答率 34.2%)
5. 調査企業の産業、従業員規模数、地域別(県民センター別)内訳

【産業別】

	建設業	製造業	運輸・ 通信業	卸・ 小売業	金融・ 保険業	サービ ス業	合計
対象企業数	87	289	66	266	22	270	1,000
回答企業数	39	105	31	72	16	79	342
構成比(%)	11.4	30.7	9.1	21.1	4.7	23.1	100.0

【従業員規模別】

	~5人	6~ 20人	21~ 50人	51~ 100人	101~ 300人	301~ 500人	501~ 1000人	1001 人~	合計
対象企業数	137	317	234	82	132	36	38	24	1,000
回答企業数	17	102	82	39	53	15	22	12	342
構成比(%)	5.0	29.8	24.0	11.4	15.5	4.4	6.4	3.5	100.0

【県民センター別】

	桑名	四日市	鈴鹿	津	松阪	伊勢	伊賀	尾鷲	熊野	合計
対象企業数	111	224	121	153	115	132	90	29	25	1,000
回答企業数	39	80	39	47	43	48	27	10	9	342
構成比(%)	11.4	23.4	11.4	13.7	12.6	14.0	7.9	2.9	2.6	100.0

(注) 構成比等(%)については、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

- (注) 桑名県民センター (桑名市・いなべ市・木曾岬町・東員町)
 四日市県民センター (四日市市・菰野町・朝日町・川越町)
 鈴鹿県民センター (鈴鹿市・亀山市)
 津県民センター (津市)
 松阪県民センター (松阪市・多気町・明和町・大台町)
 伊勢県民センター (伊勢市・鳥羽市・志摩市・玉城町・南伊勢町・度会町・大紀町)
 伊賀県民センター (伊賀市・名張市)
 尾鷲県民センター (尾鷲市・紀北町)
 熊野県民センター (熊野市・御浜町・紀宝町)

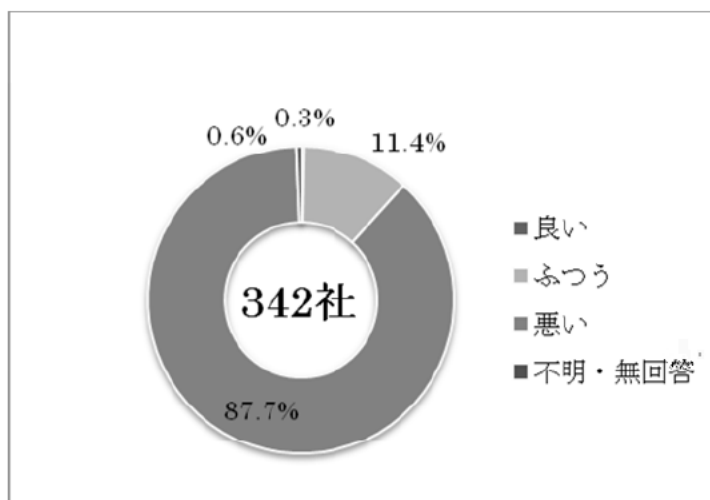
平成21年11月30日現在

景況感DI = 前期比で「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた値
 業績DI = 今期の水準について「黒字」とする企業の割合から「赤字」とする企業の割合を引いた値
 雇用DI = 今期の水準について「不足」とする企業の割合から「過剰」とする企業の割合を引いた値
 前期=2009年7~9月 今期=2009年10~12月 来期=2010年1~3月

II 概要（主な調査項目のD I値の推移）

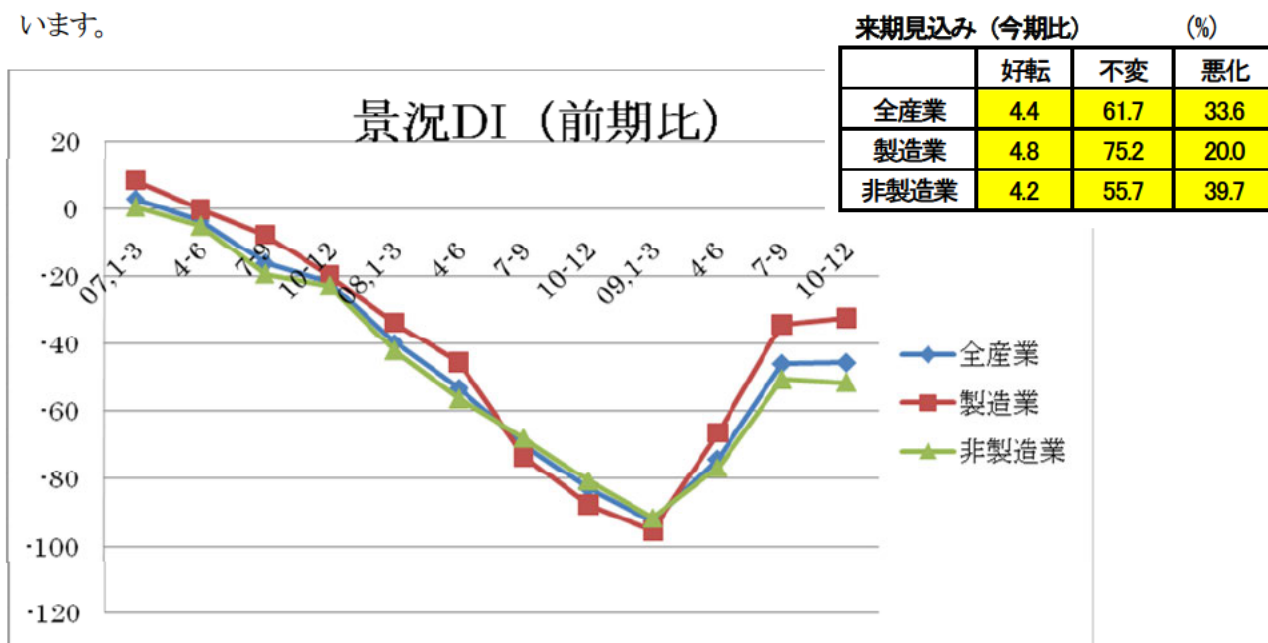
1. 景況感

今期の県内景気は「良い」0.3%、「ふつう」11.4%、「悪い」87.7%となっています。



景況感D I（前期比）は、全産業でマイナス45.6ポイントとなり、前期より0.3ポイント改善しました。

また、来期の見込み（今期比）は、全産業で「悪化」が「好転」を上回っており、その差は前期よりも拡大しています。

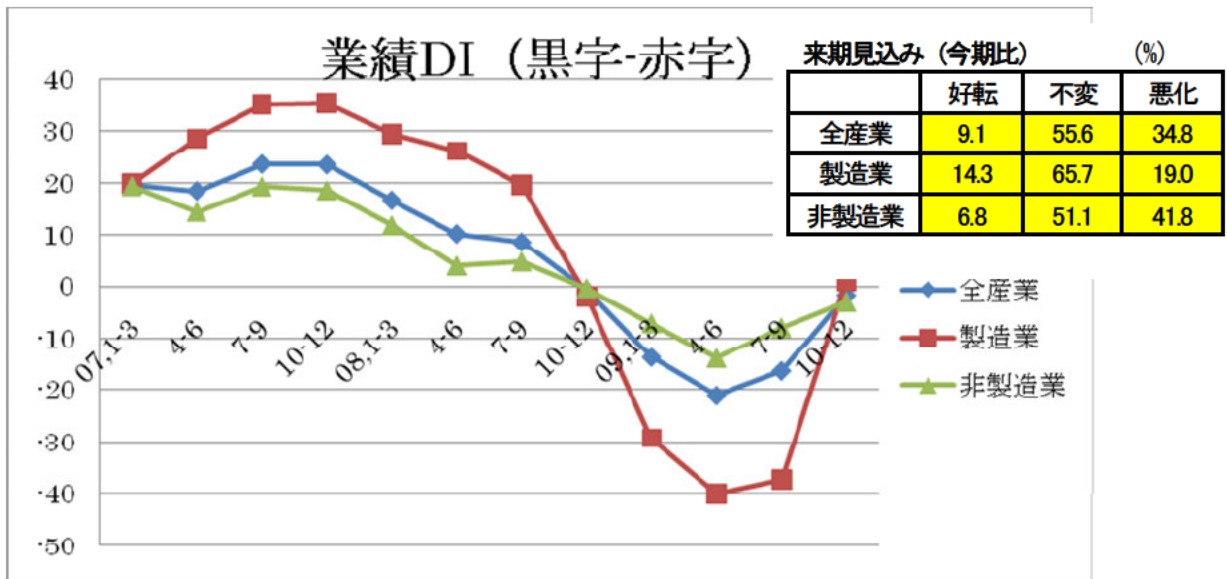


景況感D I = 前期比で「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた値

2. 業績

業績D I（利益状況）は、全産業でマイナス1.7ポイントとなり、前期より14.6ポイント改善しました。特に製造業の回復が大きく貢献しました。

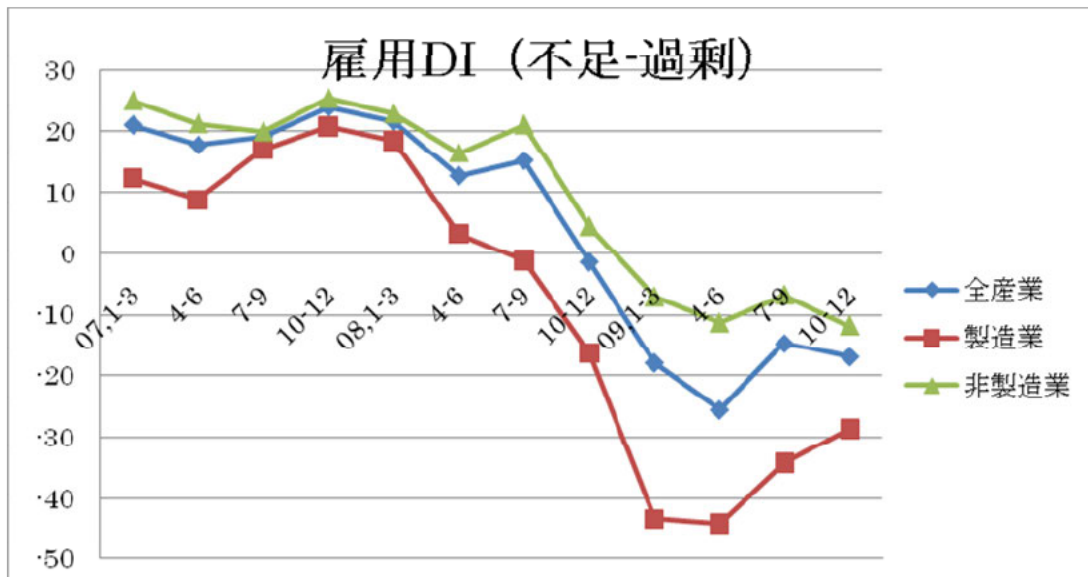
また、来期の見込み（今期比）は、全産業で「悪化」が「好転」を上回っており、その差は前期よりも拡大しています。



業績DI = 今期の水準について「黒字」とする企業の割合から「赤字」とする企業の割合を引いた値

3. 雇用

雇用DIは、全産業でマイナス16.9ポイントとなり、前期より2.2ポイント悪化して改善傾向は足踏みとなりました。



雇用DI = 今期の水準について「不足」とする企業の割合から「過剰」とする企業の割合を引いた値

4. 要約

今期の県内企業の景況について、景況感DI (全産業) はマイナス45.6となり、09年1-3月期のマイナス92.7を底とする改善傾向が続く結果となりましたが、前期(2009年7-9月期)からは0.3ポイントの小幅改善となりました。ポイントの改善(あるいはさらなる上昇)は建設業、製造業、運輸・通信業で見られました。

業績DI (全産業) はマイナス1.7となり、前期から14.6ポイントの改善となりました。業種別では、製造業、運輸・通信業、サービス業で改善しています。特に製造業での回復が大きく、マイナスからプラスへの転換がありました。

雇用DI (全産業) はマイナス16.9ポイントとなり、前期から2.2ポイント悪化しました。業種別では、建設業、

製造業で過剰感が弱まりましたが、その他の業種で悪化しています。

全体的に、業績DIは製造業を中心に回復が進んでいますが、景況DIはほぼ横ばい、雇用DIはやや悪化となっており、予断を許さない状態です。景気の回復時期も2010年10月以降との見方が6割にのぼっています。

5. 産業別

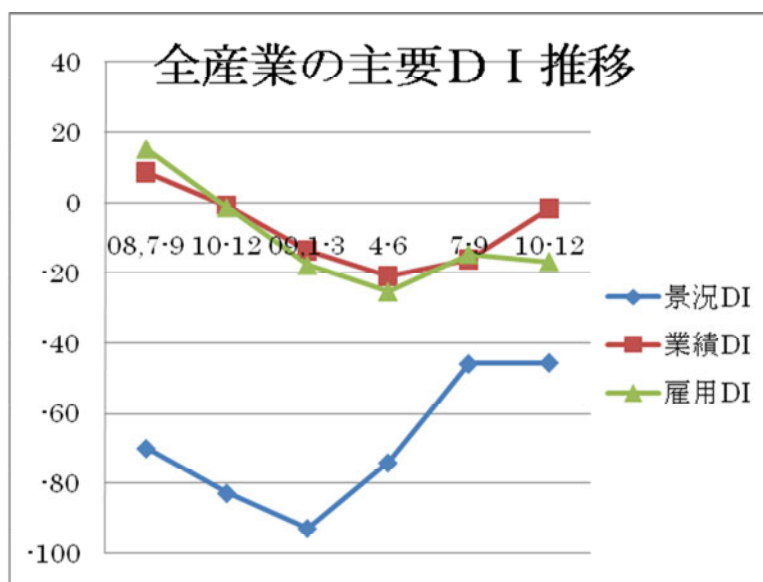
全産業 (回答342社)

マイナスが続くが、景況感、業績は改善。雇用は若干の悪化。

景況感DI（前期比）は前期より0.3ポイント改善して、マイナス45.6ポイントとなりました。

また、業績DIも前期より14.6ポイント改善して、マイナス1.7ポイントとなりました。

一方、雇用DIは前期より2.2ポイント悪化して、マイナス16.9ポイントとなりました。



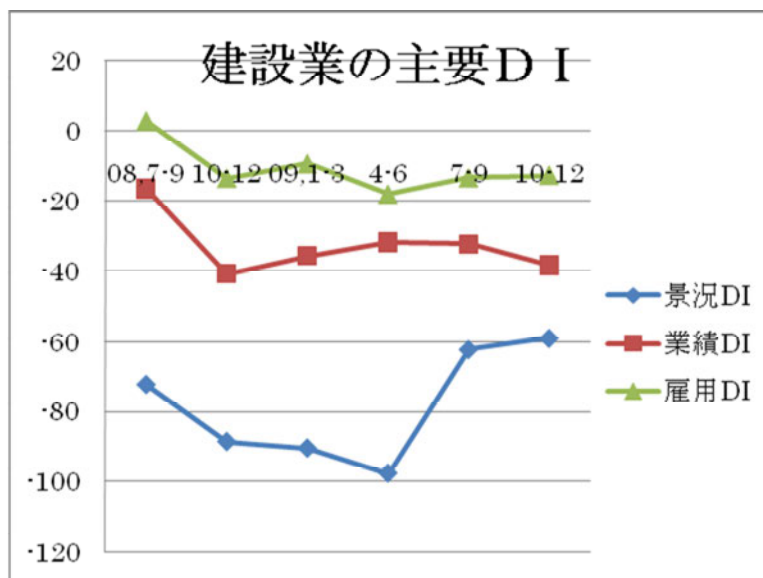
建設業 (回答39社)

景況感、雇用は改善するも、依然としてマイナス。業績は若干の悪化。

景況感DI（前期比）は前期より3.2ポイント改善して、マイナス59ポイントとなりました。

また、雇用DIも前期より0.7ポイント改善して、マイナス12.8ポイントとなりました。

一方、業績DIは前期より6.1ポイント悪化して、マイナス38.5ポイントとなりました。



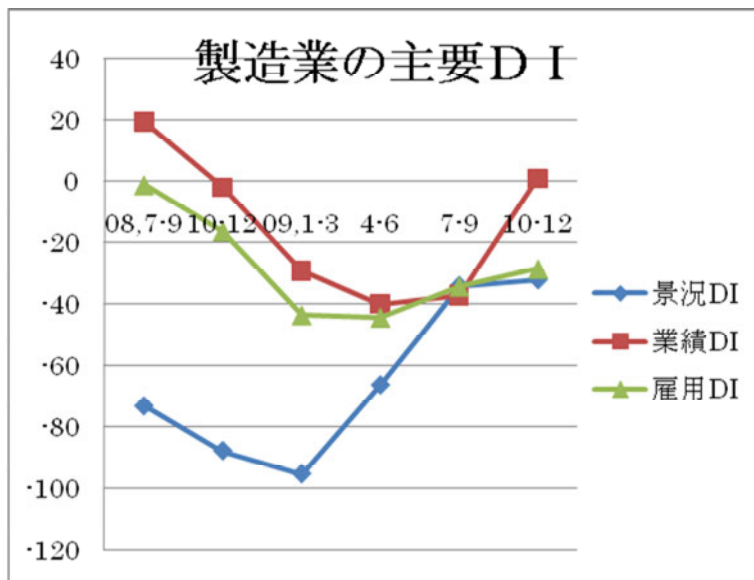
製造業 (回答105社)

景況感、雇用は小幅に改善。業績は大幅に改善し、プラスに転換。

景況感DI（前期比）は前期より2.0ポイント改善して、マイナス32.3ポイントとなりました。

また、雇用DIも前期より5.7ポイント改善して、マイナス28.6ポイントとなりました。

さらに、業績DIは前期より38.2ポイントの大幅改善となり、プラスに転換して0.9ポイントとなりました。



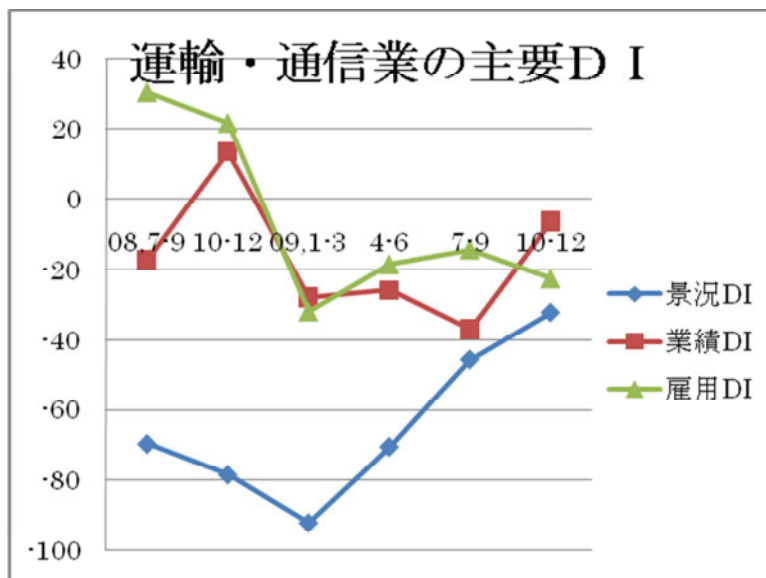
運輸・通信業 (回答31社)

景況感、業績は改善するが、依然としてマイナス。雇用は悪化し、マイナスが続く。

景況感DI（前期比）は前期より13.4ポイント改善して、マイナス32.3ポイントとなりました。

また、業績DIも前期より30.6ポイント改善して、マイナス6.5ポイントとなりました。

一方、雇用DIは前期より8.3ポイント悪化して、マイナス22.6ポイントとなりました。



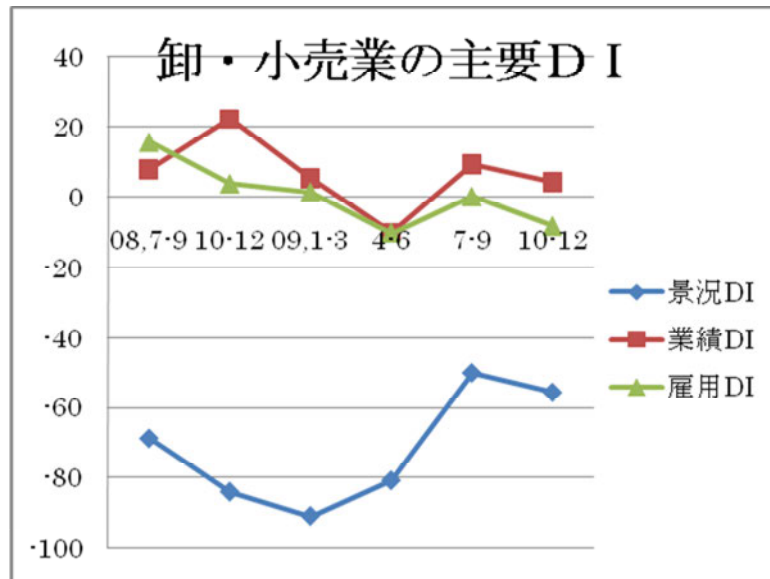
卸・小売業 (回答72社)

業績は悪化するが、プラスは維持。景況感、雇用も悪化する。

景況感DI（前期比）は前期より5.6ポイント悪化して、マイナス55.6ポイントとなりました。

また、雇用DIは前期より8.4ポイント悪化して、マイナス8.4ポイントとなりました。

一方、業績DIは前期より5.1ポイント悪化したものの、プラス4.1ポイントとプラスを維持しています。



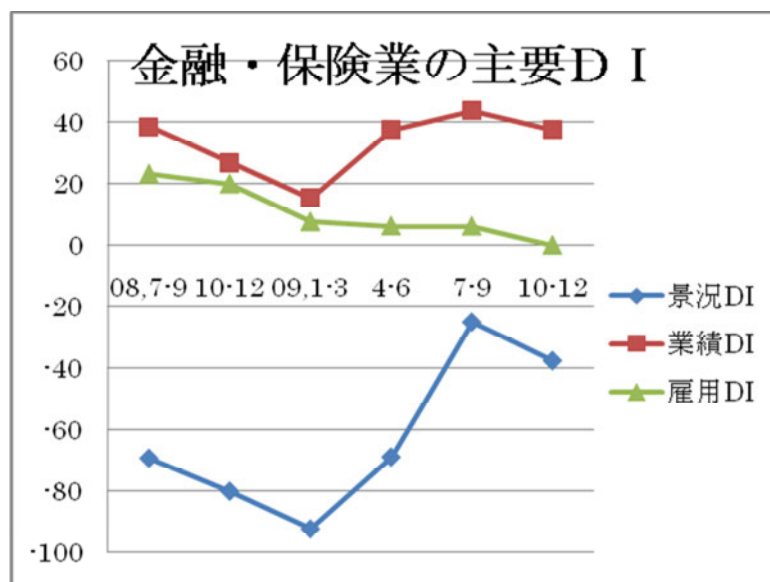
金融・保険業 (回答16社)

業績は悪化するが、引き続きプラスを維持。景況感、雇用も悪化する。

景況感D I (前期比)は前期より12.5ポイント悪化して、マイナス37.5ポイントとなりました。

また、雇用D Iは前期より6.2ポイント悪化して、±0となりました。

業績D Iは前期より6.2ポイント悪化しましたが、プラス37.5ポイントとプラスを維持しています。



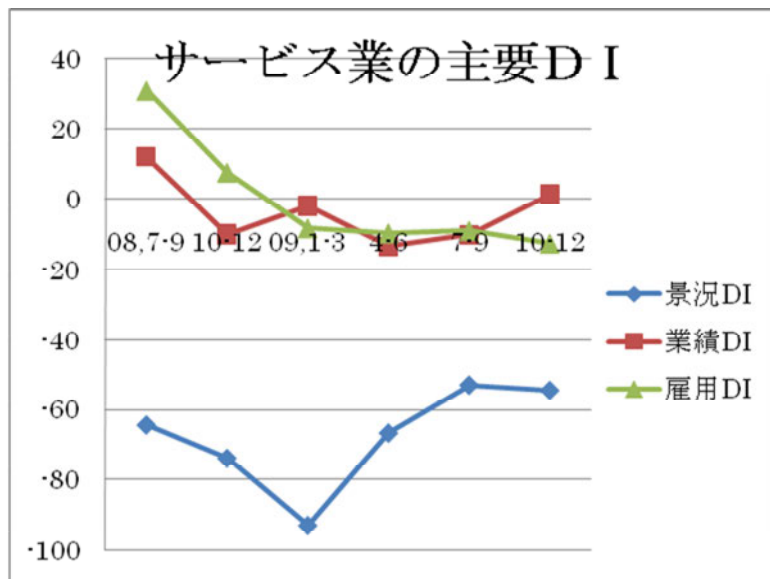
サービス業 (回答79社)

業績は改善が続きプラスに。景況感、雇用は悪化する。

景況感D I (前期比)は前期より1.5ポイント悪化して、マイナス54.4ポイントとなりました。

また、雇用D Iは前期より3.6ポイント悪化して、マイナス12.6ポイントとなりました。

一方、業績D Iは前期より11.4ポイント改善して1.2ポイントとなり、プラスとなりました。



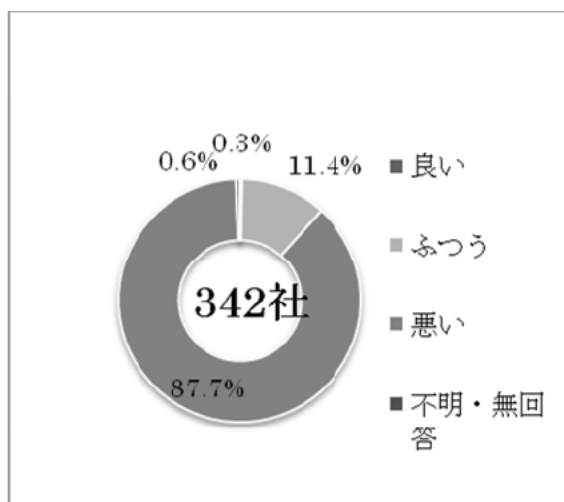
県民センター別の主要D I

	桑名	四日市	鈴鹿	津	松阪	伊勢	伊賀	尾鷲	熊野	全体
今期景況感D I	-512	-412	-23	-447	-558	-612	-37	-556	-444	-456
前期 "	-484	-506	-512	-462	-325	-41.1	-455	-556	-444	-459
今期業績D I	-154	125	0	192	-279	-103	-148	-100	00	-26
前期 "	-182	-48	-209	-93	-275	-98	-455	-222	-11.1	-163
今期雇用D I	-154	-225	-128	-149	-48	-188	-269	-300	182	-161
前期 "	-60	-169	-163	-129	-200	-11.7	-243	-11.1	-11.1	-147

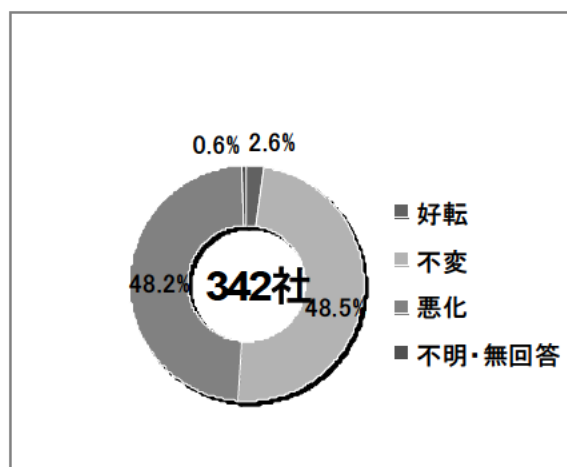
IV 全調査項目の結果詳細

1. 景気

(1) 今期の県内景気については、「良い」0.3%(1社)、「ふつう」11.4%(39社)、「悪い」87.7%(300社)となっています。



(2) 前期と比べた今期の県内景気については、「好転」2.6%(9社)、「不変」48.5%(166社)、「悪化」48.2%(165社)となっています。

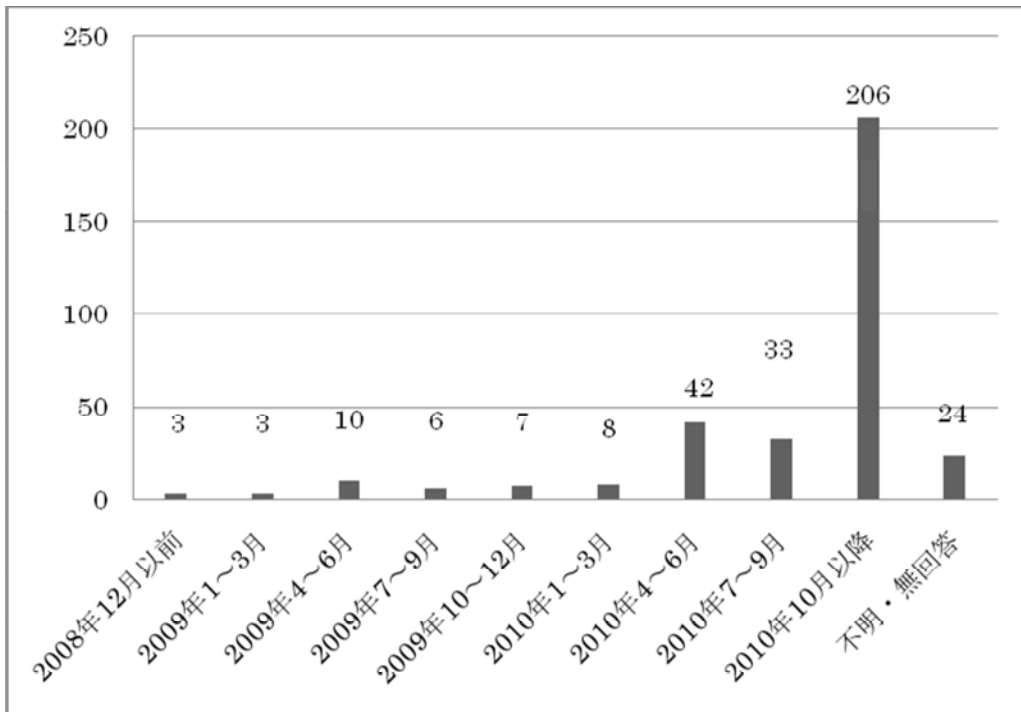


(3) 今期と比べた来期の県内景気については、「好転」4.4%(15社)、「不変」61.7%(211社)、「悪化」33.6%(115社)となっています。



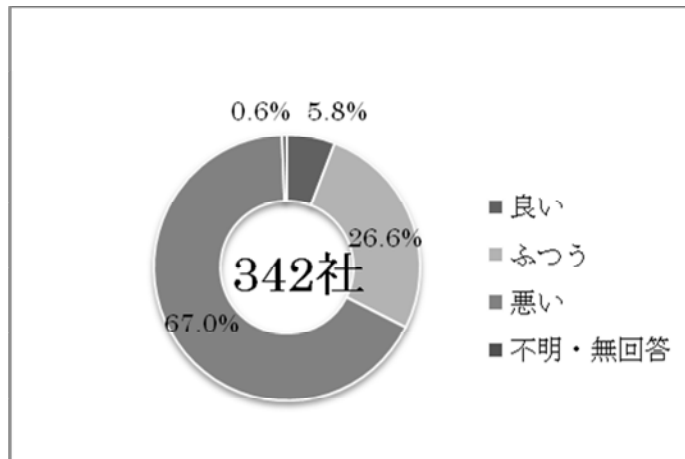
(4) 国内景気の回復時期については、「2010年10月以降」が60.3%(206社)でもっとも多く、次いで「2010年4~6月」が12.3%(42社)、「2010年7~9月」が9.7%(33社)の順となっています。

国内景気の回復時期

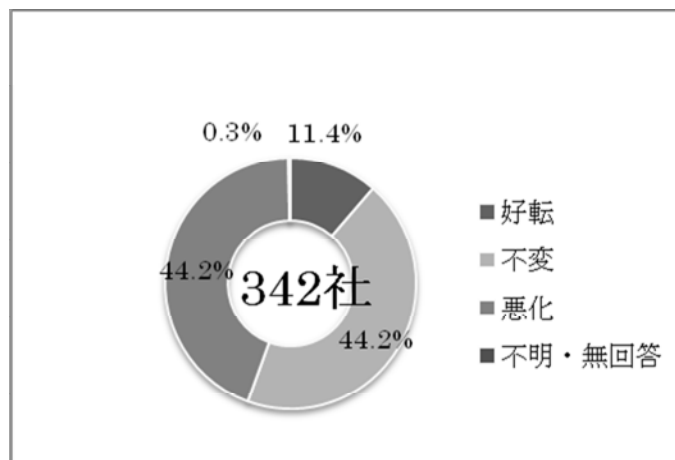


2. 業況

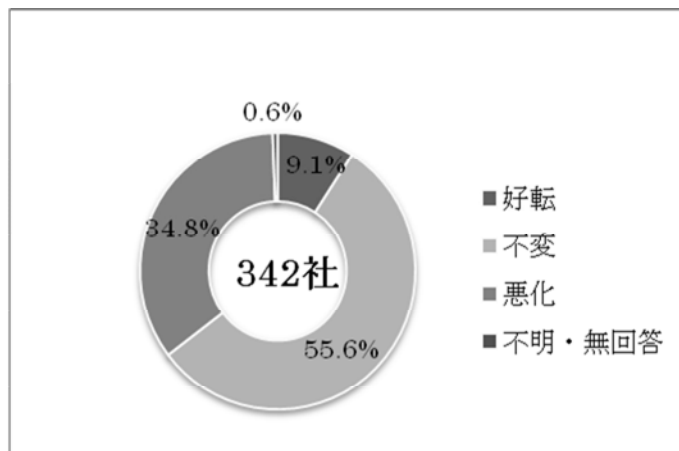
(1) 今期の業況については、「良い」5.8% (20社)、「ふつう」26.6% (91社)、「悪い」67.0% (229社)となっています。



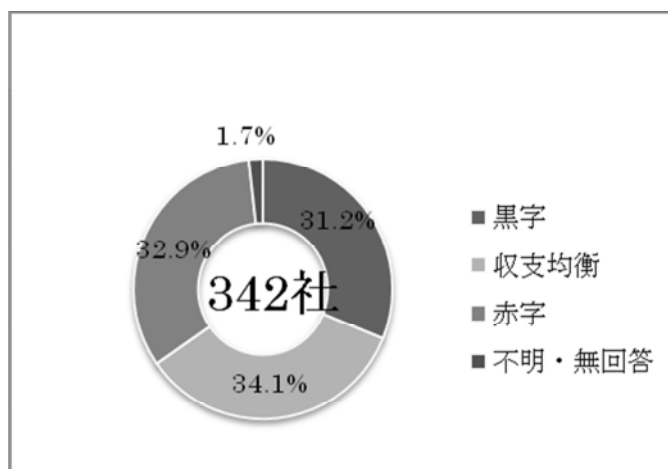
(2) 前期と比べた今期の業況については、「好転」11.4% (39社)、「不変」44.2% (151社)、「悪化」44.2% (151社)となっています。



(3) 今期と比べた来期の業況見込みについては、「好転」9.1% (31社)、「不変」55.6% (190社)、「悪化」34.8% (119社)となっています。

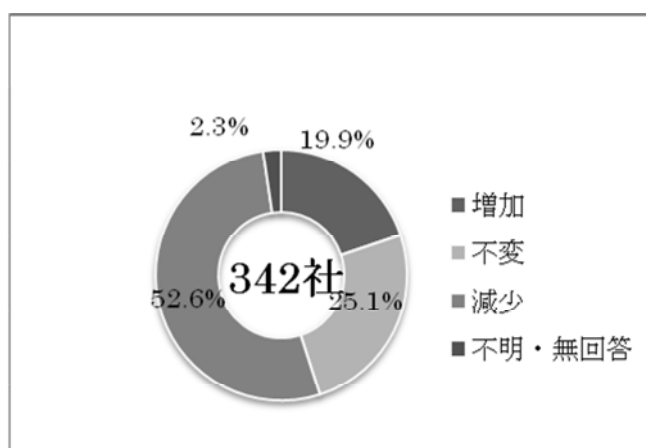


(4) 今期の利益状況については、「黒字」31.2% (107社)、「収支均衡」34.1% (117社)、「赤字」32.9% (113社)となっています。

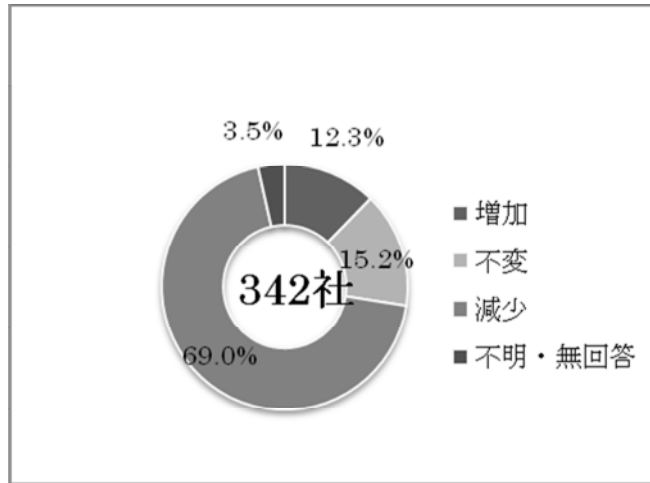


3. 売上高

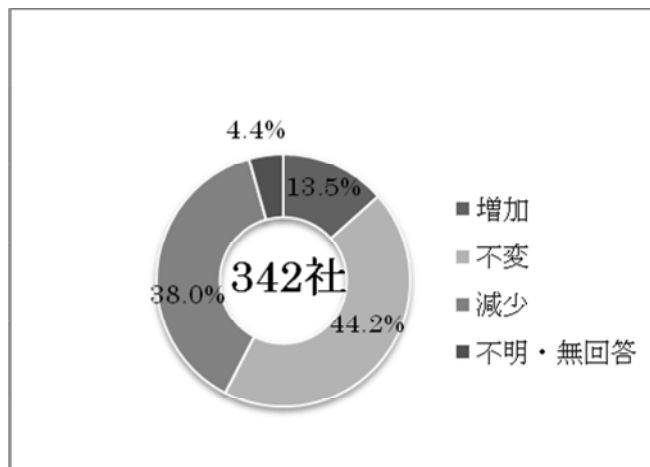
(1) 売上高の前期比較については、「増加」19.9% (68社)、「不変」25.1% (86社)、「減少」52.6% (180社)となっています。



(2) 売上高の前年同期比較については、「増加」12.3% (42社)、「不変」15.2% (52社)、「減少」69.0% (236社)となっています。

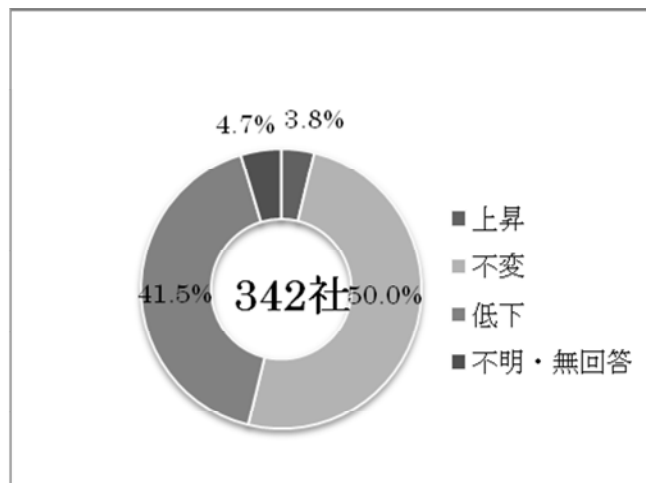


(3) 売上高の来期見込みについては、「増加」13.5% (46社) 「不変」44.2% (151社) 「減少」38.0% (130社) となっています。

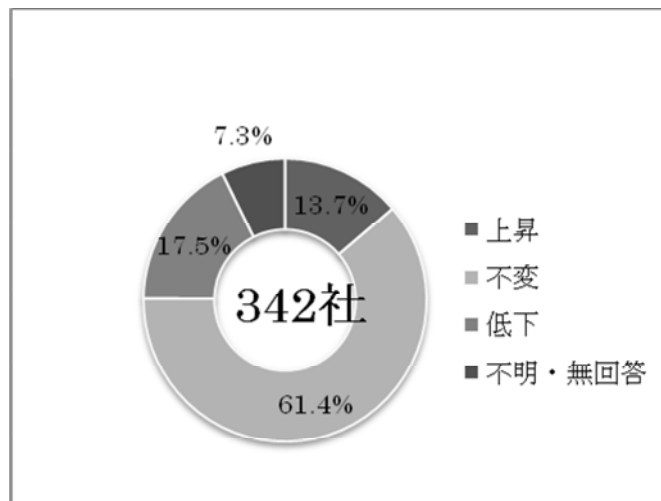


4. 価格

(1) 今期の販売価格・受注単価については、「上昇」3.8% (13社) 「不変」50.0% (171社) 「低下」41.5% (142社) となっています。



(2) 今期の仕入価格(原材料・商品)については、「上昇」13.7% (47社) 「不変」61.4% (210社) 「低下」17.5% (60社) となっています。



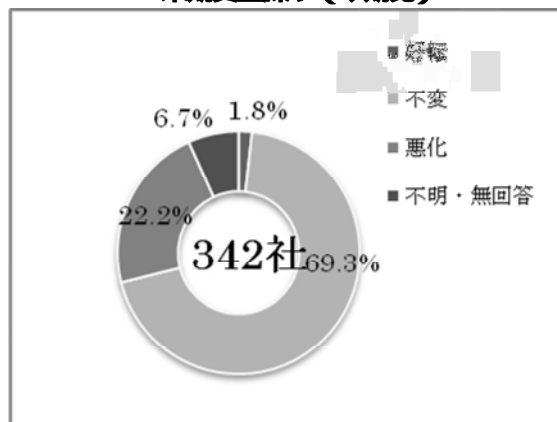
5. 資金繰り

(1) (2) 資金繰りについては、多くの企業（今期：66.4% (227社)、来期：69.3% (237社)）が「不変」としてはいますが、今期は「好転」が3.8%（13社）「悪化」が24.0%（82社）来期は「好転」が1.8%（6社）「悪化」が22.2%（76社）と、今期、来期とも「悪化」が「好転」を大幅に上回っています。

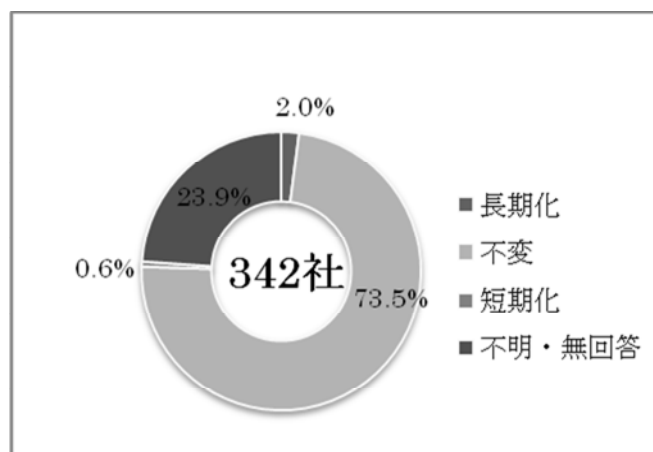
今期資金繰り（前期比）



来期資金繰り（今期比）

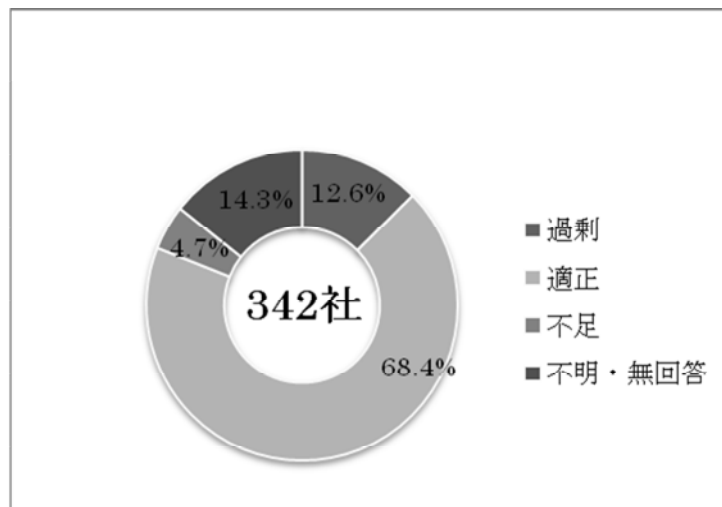


(3) 受取手形の期間は、「長期化」2.0%（7社）「不変」73.5%（252社）「短期化」0.6%（2社）となっています。



6. 製品（商品）・原材料在庫

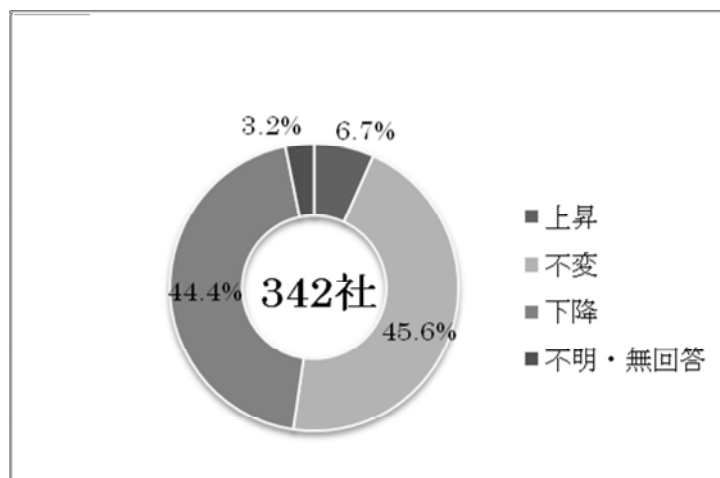
現在の製品在庫状況については、「過剰」12.6%（43社）「適正」68.4%（234社）「不足」4.7%（16社）となっています。



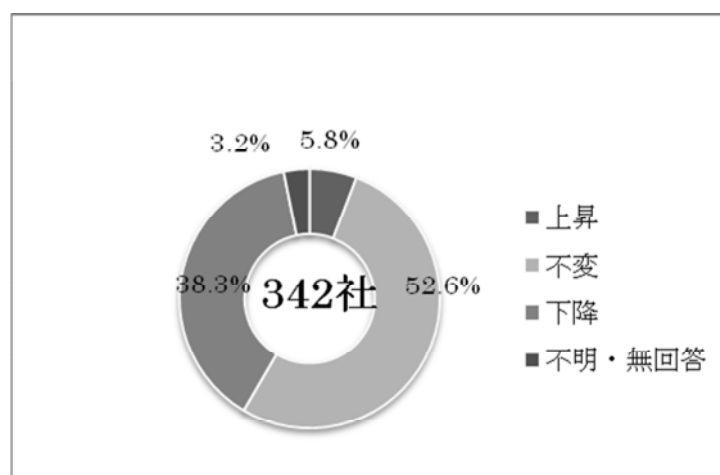
7. 設備投資意欲

〔設備投資意欲〕

(1) 前期と比べた今期の設備投資意欲については、「上昇」6.7%(23社)、「不変」45.6%(156社)、「下降」44.4%(152社)となっています。

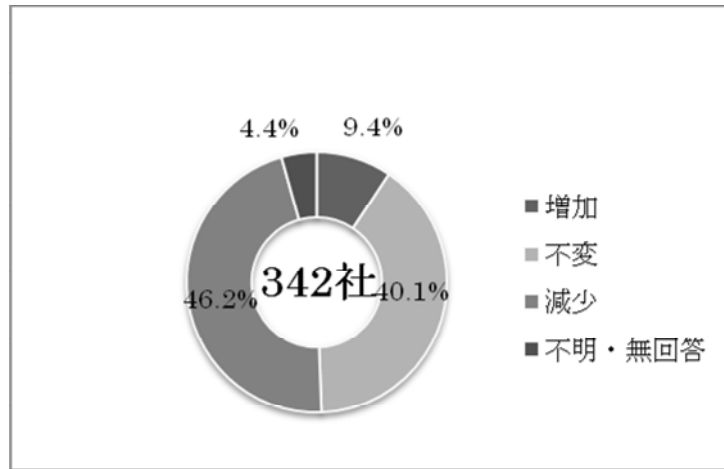


(2) 今期と比べた来期の設備投資意欲は、「上昇」5.8%(20社)、「不変」52.6%(180社)、「下降」38.3%(131社)となっています。

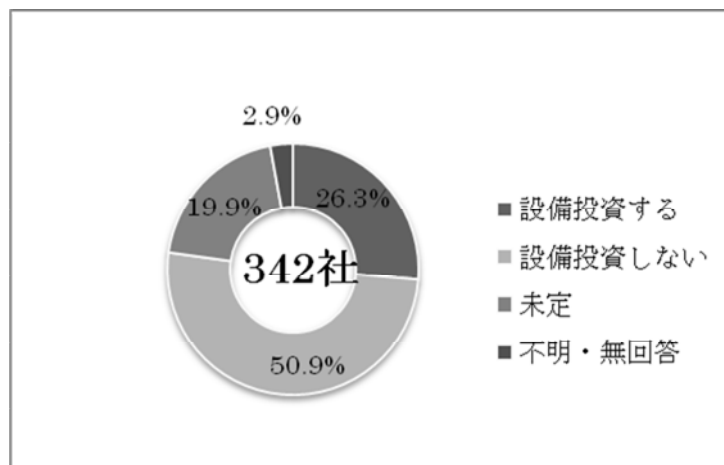


〔設備投資状況〕

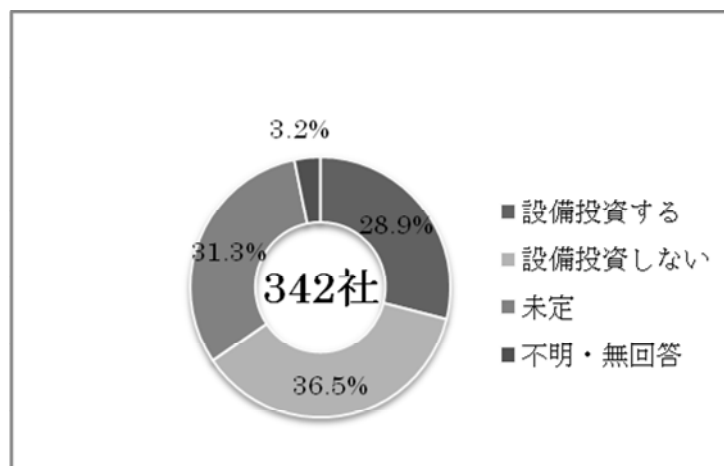
(3) 平成20年度下半期(2008年10月~2009年3月)と比べた平成21年度下半期(2009年10月~2010年3月)の設備投資計画額は、「増加」9.4%(32社)、「不変」40.1%(137社)、「減少」46.2%(158社)となっています。



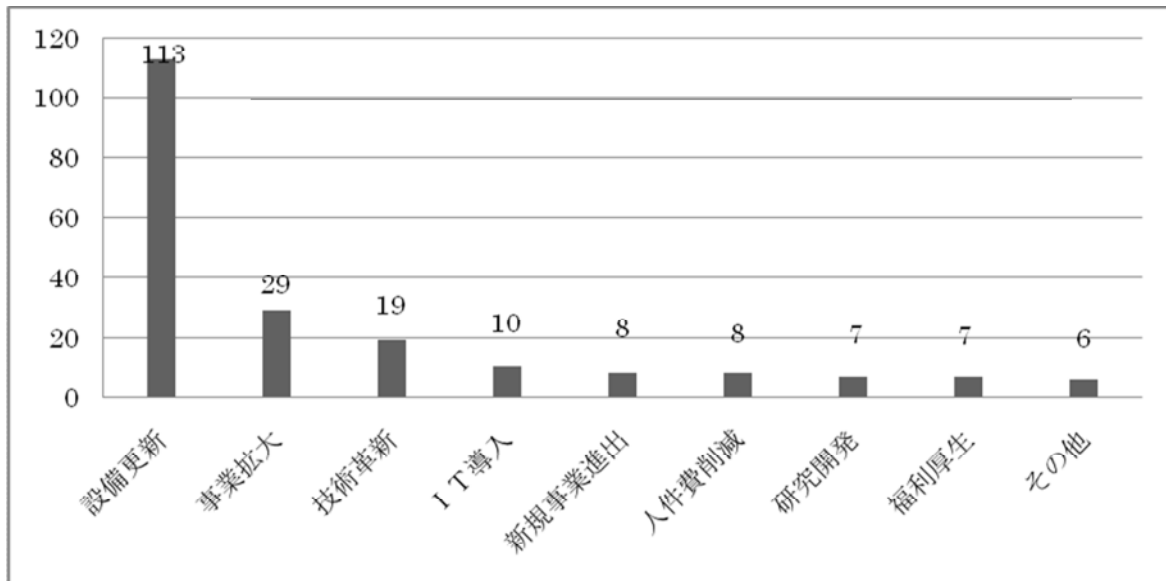
(4) 今期の設備投資予定は、「する」26.3% (90社)、「しない」50.9% (174社)、「未定」19.9% (68社)となっています。



(5) 来期の設備投資予定は、「する」28.9% (99社)、「しない」36.5% (125社)、「未定」31.3% (107社)となっています。

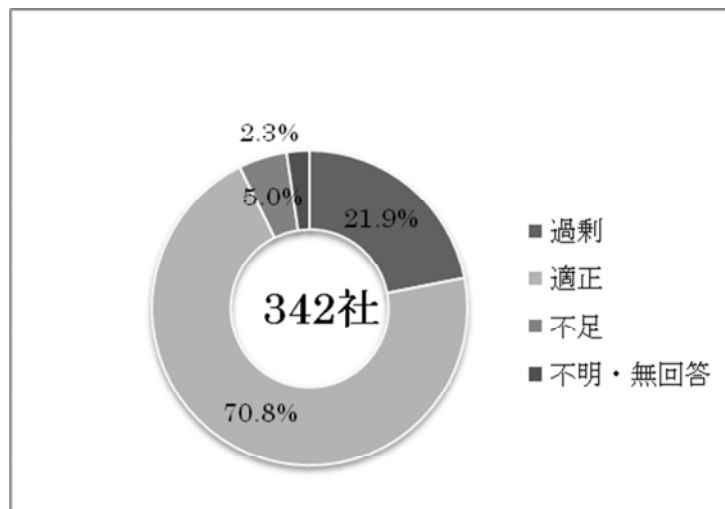


(6) 設備投資の主目的は、回答のあった131社(複数回答可)のうち、「設備更新」86.3% (113社)、「事業拡大」22.2% (29社)、「技術革新」14.6% (19社)の順となっています。



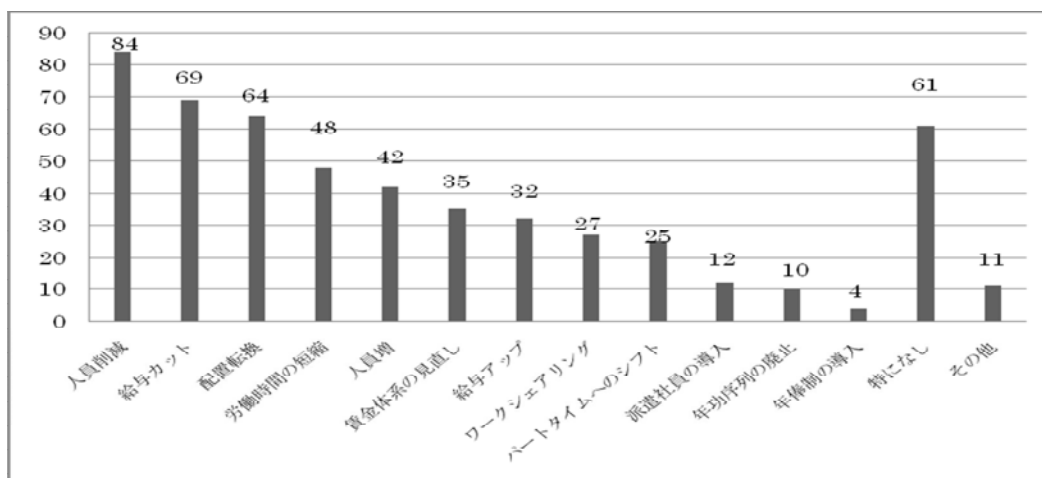
8. 雇用状態

(1) 今期の雇用状態については、「過剰」21.9% (75社)、「適正」70.8% (242社)、「不足」5.0% (17社)となっています。



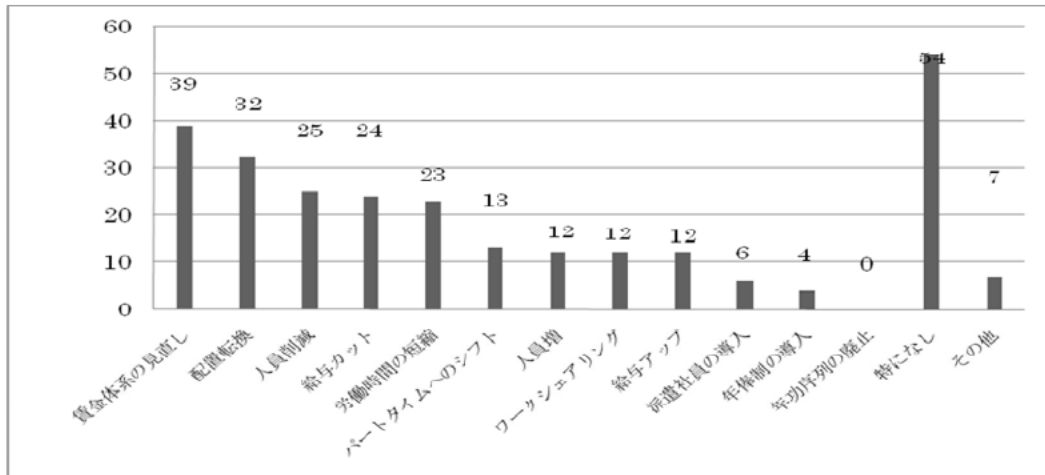
(2) 過去1年に行った雇用問題対策は、有効な回答のあった317社(複数回答可)のうち、「特になし」を除くと「人員削減」26.5% (84社)、「給与カット」21.8% (69社)、「配置転換」20.2% (64社)、「労働時間の短縮」15.2% (48社)の順となっています。

雇用問題対策(過去1年)(複数回答可)



今後行う予定の雇用問題対策は、有効な回答のあった173社（複数回答可）のうち、「特になし」を除くと、「賃金体系の見直し」22.6%（39社）、「配置転換」18.5%（32社）、「人員削減」14.5%（25社）、「賃金カット」13.9%（24社）の順となっています。

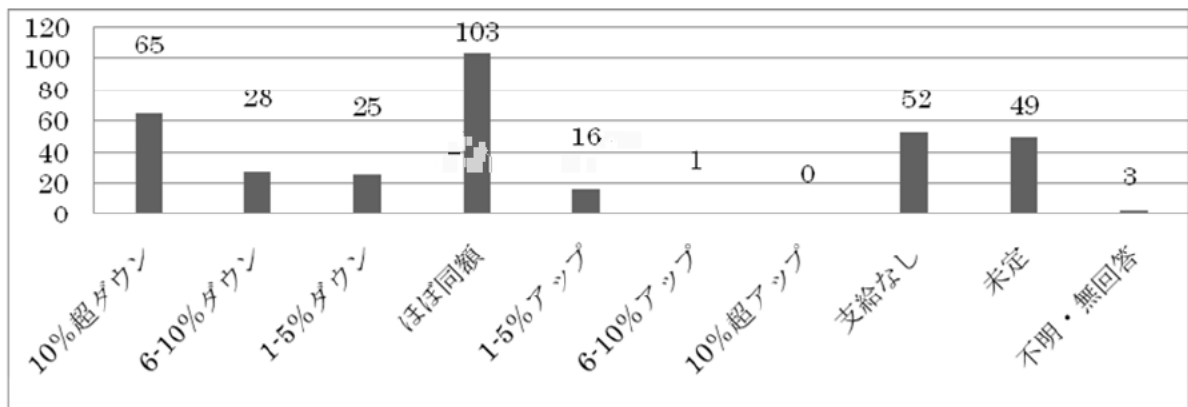
雇用問題対策（今後の予定）（複数回答可）



9. 冬のボーナス

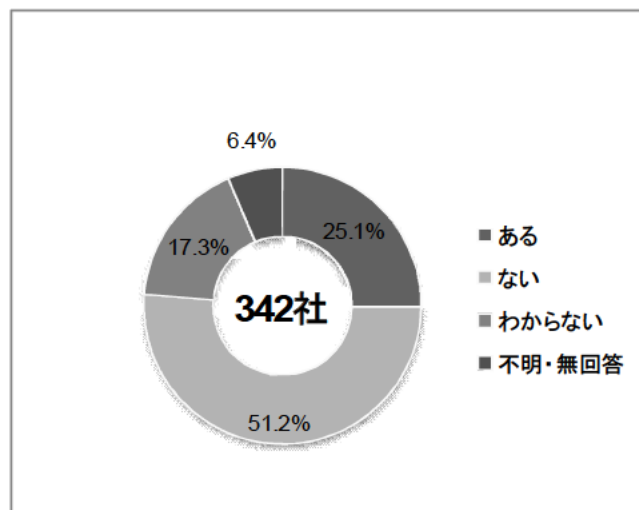
冬のボーナスの支給見込みについては、「ほぼ同額」30.1%（103社）、「10%超ダウン」19.0%（65社）、「支給なし」15.2%（52社）の順となっています。

冬のボーナス支給見込み

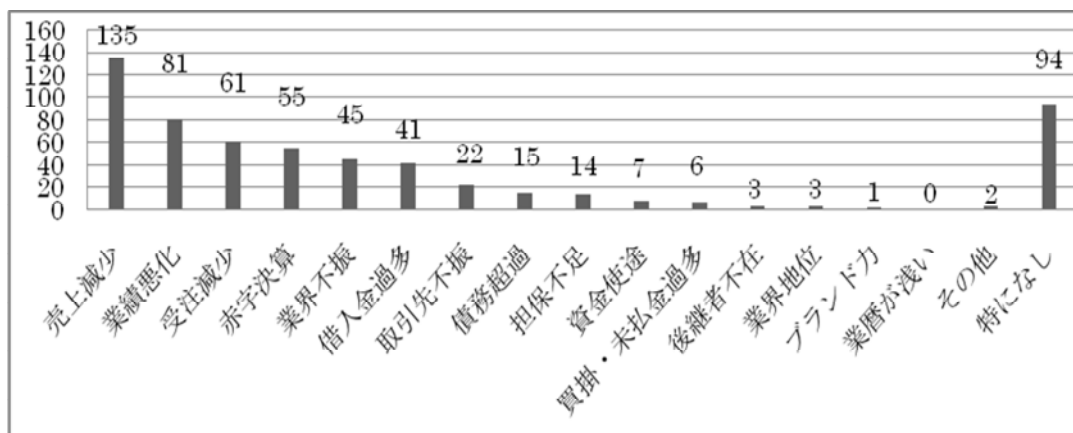


10. 資金調達

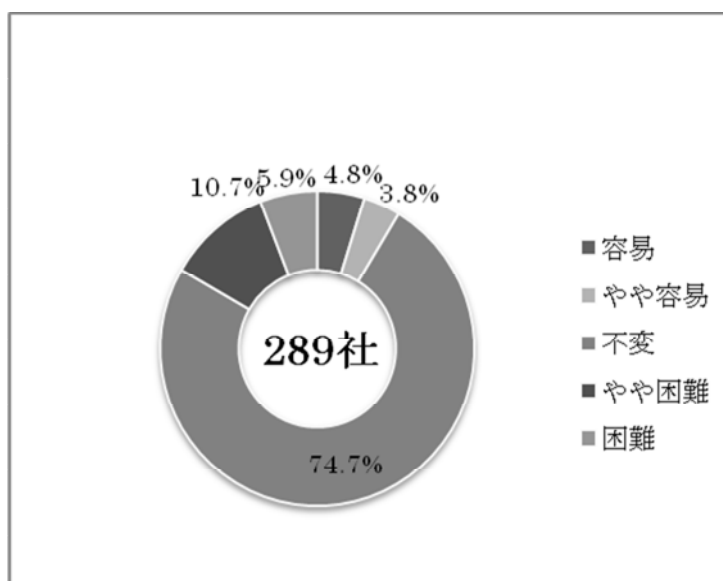
(1) 新規の借入を行う必要については、「ある」25.1%（86社）、「ない」51.2%（175社）となっています。



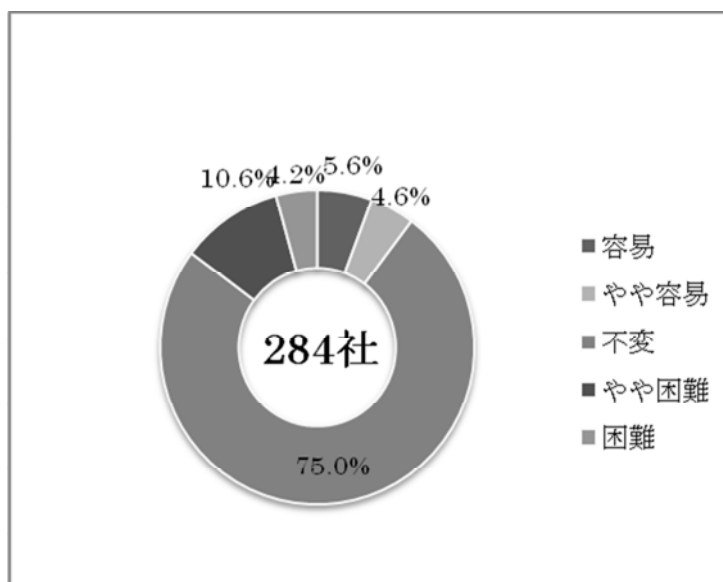
(2)借入にあたっての問題については、有効回答のあった288社(複数回答可)のうち、「特になし」を除くと「売上減少」46.9%(135社)「業績悪化」28.2%(81社)「受注減少」21.2%(61社)の順となっています。



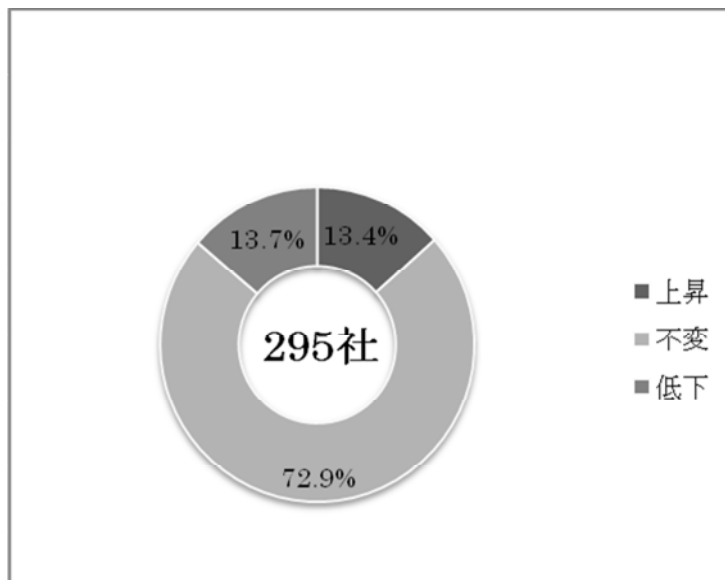
(3)前期と比べた今期の長期資金借り入れ難度は、「容易」4.8%(14社)「やや容易」3.8%(11社)「不変」74.7%(216社)「やや困難」10.7%(31社)「困難」5.9%(17社)となっています。



(4)前期と比べた今期の短期資金借り入れ難度は、「容易」5.6%(16社)「やや容易」4.6%(13社)「不変」75.0%(213社)「やや困難」10.6%(30社)「困難」4.2%(12社)となっています。

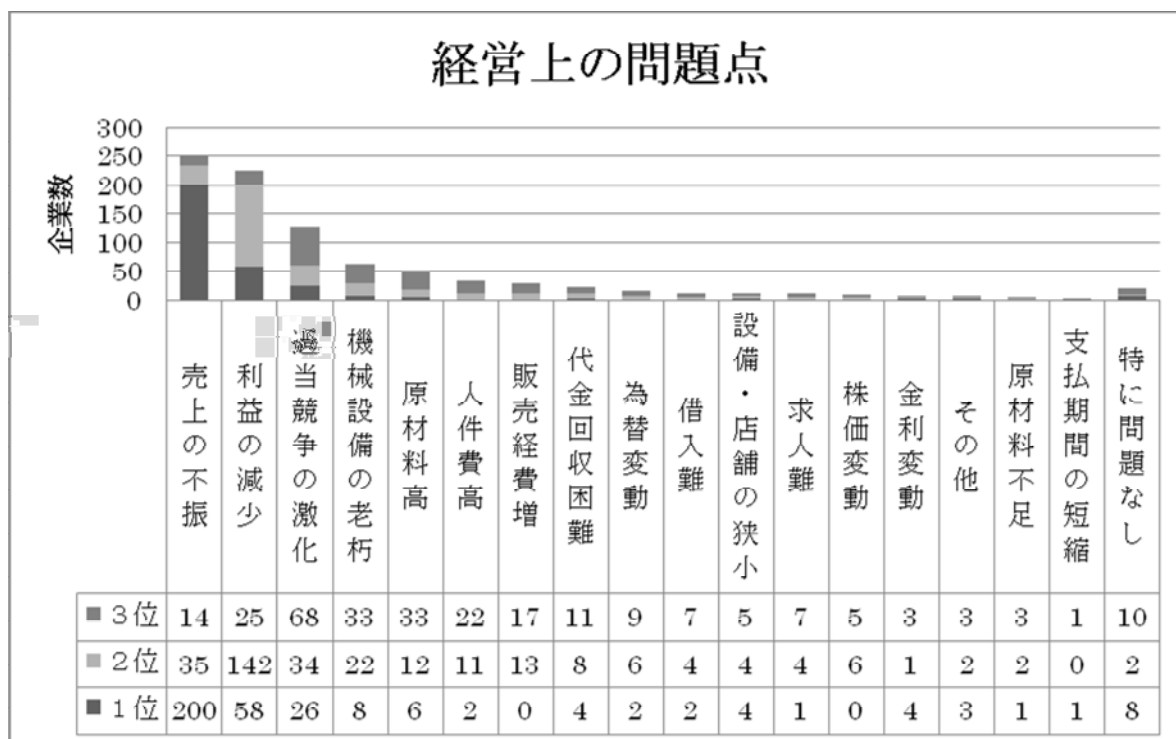


(5) 前期と比べた今期の借入れ金利は、「上昇」13.4% (38社)、「不変」72.9% (207社)、「低下」13.7% (39社)となっています。

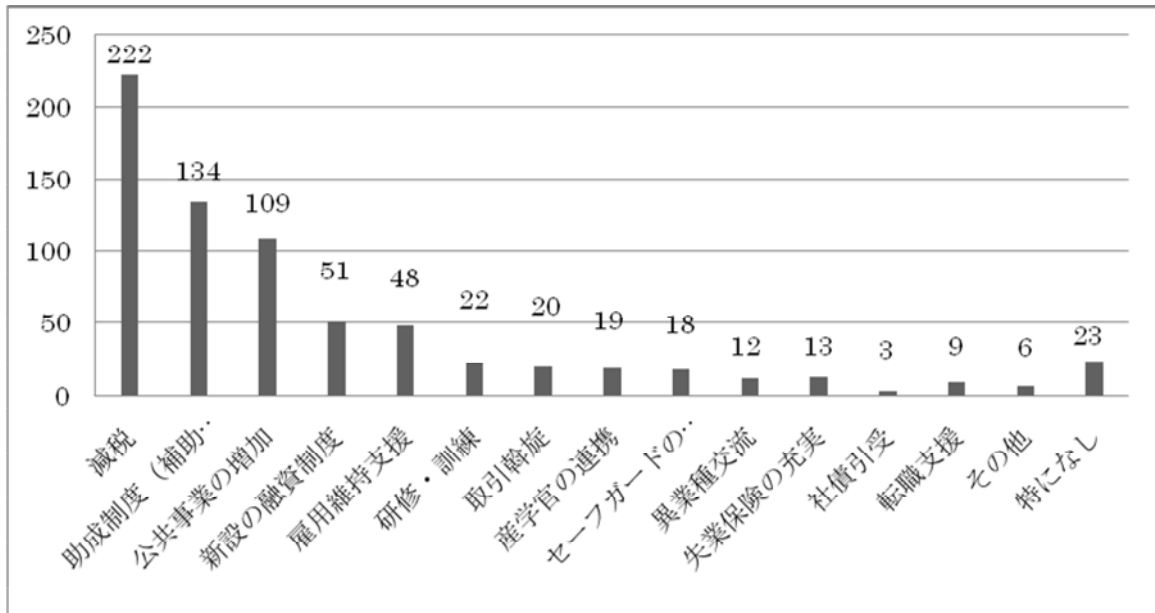


11. 経営上の問題

(1) 経営上の問題点(上位3項目選択)としては「売上の不振」249社、「利益の減少」225社、「過当競争の激化」128社の順となっています。



(2) 効果があると考えられる公共機関が行う企業支援策としては、「減税」65.7% (222社)、「助成制度(補助金等)」39.7% (134社)、「公共事業の増加」32.3% (109社)、「新設の融資制度」15.1% (51社)の順となっています。(複数回答可)



(3) 公共機関が行う企業支援策のうち、特に緊急を要するものとしては、「減税」57.1% (170 社)、「公共事業の増加」29.2% (87 社)、「助成制度 (補助金等)」21.9% (65 社)、「新設の融資制度」9.8% (29 社)の順となっています。(複数回答可)

